

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年2月13日

【四半期会計期間】 第78期第3四半期(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

【会社名】 オーデリック株式会社

【英訳名】 ODELIC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 伊藤 雅人

【本店の所在の場所】 東京都杉並区宮前一丁目17番5号

【電話番号】 03(3332)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営本部長 河井 隆

【最寄りの連絡場所】 東京都杉並区宮前一丁目17番5号

【電話番号】 03(3332)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営本部長 河井 隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第77期 第3四半期 連結累計期間	第78期 第3四半期 連結累計期間	第77期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	27,871,226	27,846,275	38,204,853
経常利益 (千円)	3,557,564	3,672,266	4,764,247
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	2,336,866	2,483,431	3,081,129
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,361,560	2,536,779	2,954,371
純資産額 (千円)	24,462,498	26,757,389	25,057,413
総資産額 (千円)	33,925,231	35,530,884	35,220,912
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	387.96	412.26	511.52
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	387.50	411.62	510.86
自己資本比率 (%)	72.0	75.2	71.1

回次	第77期 第3四半期 連結会計期間	第78期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	166.69	165.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調が続く一方で、中国の景気減速や英国のEU離脱問題、米国の新大統領就任後の政策に対する懸念などから、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの業績に大きな影響を与える住宅投資につきましては、低水準の住宅ローン金利や相続税対策の一環として貸家建築需要が好調に推移していることなどを背景に、新設住宅着工戸数は前年同月比プラスで推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおいては、昨年6月に総合カタログ「ハビテーション+ストラクチャルライティング 2016-2017」を発刊、昨年12月には店舗・施設用照明器具カタログ「OS05.5」を発刊し、住宅・店舗・施設・オフィス・工場さらには屋外に至るさまざまな用途に対して、各種LED照明器具の増販に向けた営業活動を積極的に進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,846百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益3,649百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益3,672百万円（前年同期比3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,483百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

なお、当社グループは照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(2) 財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は35,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金472百万円の減少に対し、現金及び預金344百万円、商品及び製品363百万円の増加等によるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,390百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金272百万円、電子記録債務257百万円及び未払法人税等671百万円の減少等によるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は26,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,699百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2,483百万円に対し、配当金の支払い843百万円による利益剰余金の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.2%(前連結会計年度は71.1%)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、605百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,941,000
計	28,941,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,100,000	6,100,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,100,000	6,100,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年12月31日		6,100,000		3,105,500		2,890,655

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

平成28年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 75,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,014,200	60,142	
単元未満株式	普通株式 10,100		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,100,000		
総株主の議決権		60,142	

【自己株式等】

平成28年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) オーデリック株	東京都杉並区宮前一丁目17番5号	75,700		75,700	1.24
計		75,700		75,700	1.24

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,775,456	9,119,625
受取手形及び売掛金	7,462,467	² 6,989,478
商品及び製品	6,201,046	6,564,844
仕掛品	501,723	436,879
原材料及び貯蔵品	1,591,702	1,522,030
その他	660,010	666,762
貸倒引当金	2,162	2,414
流動資産合計	25,190,245	25,297,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,524,673	3,467,150
機械装置及び運搬具（純額）	160,456	182,938
土地	2,263,781	2,263,781
その他（純額）	353,469	464,596
有形固定資産合計	6,302,380	6,378,466
無形固定資産	1,150,384	1,164,154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,032,065	1,097,514
退職給付に係る資産	283,132	330,460
その他	1,274,717	1,274,717
貸倒引当金	12,012	11,637
投資その他の資産合計	2,577,902	2,691,055
固定資産合計	10,030,667	10,233,676
資産合計	35,220,912	35,530,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,755,782	² 1,482,908
電子記録債務	2,549,405	2,291,676
短期借入金	4,296	4,296
未払法人税等	1,090,673	418,674
賞与引当金	552,635	208,211
その他	2,012,123	2,132,796
流動負債合計	7,964,917	6,538,564
固定負債		
長期借入金	6,842	3,620
退職給付に係る負債	961,161	945,683
その他	1,230,578	1,285,626
固定負債合計	2,198,581	2,234,930
負債合計	10,163,499	8,773,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,105,500	3,105,500
資本剰余金	2,890,655	2,892,018
利益剰余金	18,681,508	20,321,604
自己株式	67,207	66,816
株主資本合計	24,610,456	26,252,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359,402	408,187
退職給付に係る調整累計額	56,629	58,951
その他の包括利益累計額合計	416,032	467,139
新株予約権	22,544	27,321
非支配株主持分	8,380	10,621
純資産合計	25,057,413	26,757,389
負債純資産合計	35,220,912	35,530,884

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	27,871,226	27,846,275
売上原価	18,005,094	17,609,101
売上総利益	9,866,132	10,237,174
販売費及び一般管理費	6,399,637	6,588,168
営業利益	3,466,494	3,649,005
営業外収益		
受取利息	12,551	13,042
受取配当金	27,946	28,397
助成金収入	31,185	-
その他	25,972	20,765
営業外収益合計	97,655	62,205
営業外費用		
支払利息	4,830	4,947
為替差損	-	33,456
その他	1,755	540
営業外費用合計	6,586	38,944
経常利益	3,557,564	3,672,266
特別損失		
固定資産除却損	3,941	8,094
特別損失合計	3,941	8,094
税金等調整前四半期純利益	3,553,623	3,664,172
法人税、住民税及び事業税	1,065,054	1,032,172
法人税等調整額	150,128	146,327
法人税等合計	1,215,183	1,178,499
四半期純利益	2,338,440	2,485,673
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,573	2,241
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,336,866	2,483,431

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,338,440	2,485,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,552	48,784
退職給付に係る調整額	431	2,321
その他の包括利益合計	23,120	51,106
四半期包括利益	2,361,560	2,536,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,359,987	2,534,538
非支配株主に係る四半期包括利益	1,573	2,241

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

次のとおり従業員の銀行借入に対して債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
従業員	3,425千円	3,794千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形		74,975千円
支払手形		38,631千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
減価償却費	502,181千円	545,789千円

(株主資本等関係)

(配当に関する注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	361,415	60.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金
平成27年11月5日 取締役会	普通株式	301,176	50.00	平成27年9月30日	平成27年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年11月5日開催の取締役会決議に基づき、平成27年11月20日付で自己株式1,511,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,327百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が17,937百万円、自己株式が67百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月24日 定時株主総会	普通株式	481,881	80.00	平成28年3月31日	平成28年6月27日	利益剰余金
平成28年11月8日 取締役会	普通株式	361,453	60.00	平成28年9月30日	平成28年12月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、照明器具の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	387円96銭	412円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	2,336,886	2,483,431
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	2,336,886	2,483,431
普通株式の期中平均株式数(株)	6,023,540	6,023,984
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	387円50銭	411円62銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	7,091	9,268
希薄化効果を有していないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第78期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)中間配当については、平成28年11月8日開催の取締役会において、平成28年9月30日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行っております。

配当金の総額	361,453千円
1株当たりの金額	60.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成28年12月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 2月13日

オーデリック株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 廣 田 剛 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 天 野 清 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーデリック株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーデリック株式会社及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。